

司 式 熊 田 雄 二 牧 師

奏 楽 五 十 嵐 美 代 枝 姉 妹

前 奏

開 会 招 詞

\* 賛 美 歌 3：1 力の主をほめたたえまつれ

力の主をほめたたえまつれ わが心よ今しも目さめて  
 豎琴かきならしつ 御名をほめまつれ アーメン

\* 開 会 祈 禱

罪 の 告 白 祈 禱 書 3 罪 の 告 白 ②

主なる神よ、あなたの御前に背きの罪を告白します。わたしは聖なる戒めに従わず、失われた羊のように迷い出て、思いと言葉と行いにおいて罪を犯しました。しなければならぬことをせず、してはならぬことをして、自分の身に、あなたの怒りと裁きを招きました。憐れみに富んでおられる父よ、罪と過ちを悲しむわたしに憐れみを注いでください。神の独り子である救い主の名によって、わたしを赦してください。聖霊の恵みによって、わたしを新しく生まれ変わらせてください。願わくは今から後、み栄えのために生きる者とならせてください。

主イエス・キリストの御名によって。アーメン。(詩編32、イザヤ53、ローマ7)

罪の赦しの宣言

十 戒 祈 禱 書 4

1. あなたは、わたしのほかに、何者をも神としてはならない。
2. あなたは自分のために刻んだ像を造ってはならない。それにひれ伏してはならない。それに仕えてはならない。
3. あなたは、あなたの神、主の名を、みだりに唱えてはならない。主は、み名をみだりに唱える者を、罰しないではおかない。
4. 安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
5. あなたの父と母を敬え。
6. あなたは殺してはならない。
7. あなたは姦淫してはならない。
8. あなたは盗んではならない。
9. あなたは隣人について偽証してはならない。
10. あなたは隣人の家をむさぼってはならない。隣人の妻、またすべて隣人のものをむさぼってはならない。

(出エジプト20、申命記5)

\* 賛 美 歌 47：1 主よ我をば捕えたまえ

主よ我をば捕えたまえ さらばわがたまは解き放たれん  
 わがやいばを砕きたまえ さらばわがあだに打ち勝つをえん アーメン

共同の祈禱 祈禱書19 聖霊降臨節第二主日 三位一体主日

父と子と聖霊の、三つにして一つなる、活けるまことの神さま、あなたは、愛と力と栄光に満ちた、大いなる神であることを告白します。

復活の主イエスは、弟子たちに現れ、全ての民に福音を宣べ伝えて、キリストの弟子とし、父と子と聖霊の名によって洗礼を受けよと命じられました。

わたしたちは、主イエスが命じられたことを、すべて守ることによって、三つにして一つなる神の、愛の交わりの中にあることができますように。今も後もとこしえに。

(マタイ28、Iヨハネ1、「聖霊」四)

献 金 (黒) 教会活動 (赤) 東北伝道を覚えて 70

今ささぐるそなえものを 主よ きよめて うけたまえ アーメン

聖書朗読 ルカによる福音書7章36～50節 (新約聖書116頁)

説教・祈禱 「愛の大きさ」 熊田雄二牧師

\* 賛美歌 47:4 わがすべては主のものなり

わがすべては主のものなり 主はわが喜びまた幸なり

主よ、御霊を満たしたまえ さらばとこしえの安きを受けん アーメン

\* 主の祈り 祈禱書1

天にまします我らの父よ

願わくは御名をあがめさせたまえ

御国を来たらせたまえ 御心の天になるごとく 地にもなさせたまえ

我らの日用の糧を 今日も与えたまえ

我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく 我らの罪をも赦したまえ

我らを試みに会わせず 悪より救い出したまえ

国と力と栄えとは 限りなく汝のものなればなり アーメン。

\* 頌 栄 63 天地こぞりて

あめつちこぞりて かしこみ讃えよ

み恵みあふるる 父・御子・御霊を アーメン

\* 祝 禱

後 奏 (黙禱)

報 告 古澤純一長老 (司会・受付 次週：門脇献一長老)

本日 受付 1階：星野房子執事 2階：古澤迪子執事／ 動画：雨宮信長老 録音：大日南信也執事  
次週 受付 1階：加藤良明執事 2階：森永美保執事／ 動画：森永翔馬兄弟 録音：門脇光生兄弟

## I210418こひつじ科 「愛の大きさ」

この話、4月のCSこひつじ科で話したばかりです。子供たちにはどう話したのか、私もふり返ってみましょう。

ある日、イエス様がファリサイ派の人に、食事に招かれた時のお話です。ファリサイ派の人というのは、自分が信仰深いと思っている人たちです。

さて、その町でよく知られた罪深い女の人が、イエス様に近づいてきました。その人は泣きながら涙でイエス様の足をぬらして、自分の髪の毛でぬぐいました。そして、イエス様の足にキスして、良い香りのする油を塗りました。

足にキスするなんて汚いような気がしますね。その頃ユダヤの人たちは、はだしでサンダルをはいているので、よごれているのです。そのよごれを、涙と髪の毛とキスでぬぐい取って、良い香りのする油を塗りました。

するとファリサイ派の人は、心の中で言いました。「罪深い女が自分に触っているのが分からないのだろうか。」するとイエス様は、そのファリサイ派の人を見ながらシモン・ペトロに言いました。「ある金貸し（銀行じゃないけどお金を貸す仕事をしている人です）。ある金貸しから二人の人がお金を借りていた。一人は500デナリオン、もう一人は50デナリオン借りていた（500万円、50万円としておきましょう）。返す時が来たが、二人とも返すことができなかった（仕事に失敗したのでしょうか）。金貸しは二人の借金を0にしてあげた（金貸しの帳面から消してくれました）。二人のうち、どちらが金貸しに多く感謝するだろうか。」シモンは、「帳消しにしてもらった金額の多い方だと思います」と答えました。イエス様は「そのとおりだ」言って、シモンに言われたのが、さっき読んだ聖書の箇所です。

もう一度読みましょう。そして、女の方を振り向いて、シモンに言われた。「この人を見ないか。私があなたの家に入った時、あなたは足を洗う水もくれなかったが、この人は涙で私の足をぬらし、髪の毛でぬぐってくれた。あなたは私に接吻の挨拶もしなかったが、この人は私が入って来てから、私の足に接吻してやまなかった。あなたは頭にオリーブ油を塗ってくれなかったが、この人は足に香油を塗ってくれた。だから、言うておく。この人が多くの罪を赦されたことは、私に示してくれた愛の大きさに分かる。赦されることの少ない者は、愛することも少ない」。

イエス様は、最初にファリサイ派の人を見ながらシモンに言われました。次に、女の人を見ながらシモンに言われました。ちょっとおもしろいですね。ファリサイ派の人を見ながらシモンに言われた、女の人の方を見ながらシモンに言われた。どちらも、シモンに言われたんですね。もちろん、ファリサイ派の人にも、その罪深い女の人にも言われたのですけれども、直接言われたのは弟子のシモン・ペトロです。ですから、今、イエス様の弟子である私たちにも言うておられます。「多くの罪を赦されたことは、私に示してくれた愛の大きさに分かる。赦されることの少ない者は、愛することも少ない」。

イエス様への愛の大きさは、イエス様の十字架によって赦される罪の大きさに関係があ

るのですね。ファリサイ派の人は、自分の罪が大きくて多いことに気が付きにくい人でした。「罪深い女」と言われていた人は、自分の罪が大きくて多いことに悲しんでいました。だから、自分の罪のために死んでくださるイエス様への愛が、大きくて多いと、イエス様は言われました。

私たちも、イエス様への愛が、大きくして多いと言われたいですね。そのためには、イエス様への感謝が大きくて多いことが大切です。そのためには、聖書からイエス様のことを、よく学びましょう。そのためには、教会学校の先生たちの聖書のお話をよく聴きましょう。

## Ⅱ よく似た話の整理

この話も、どこかで読んだような気がしますね。しかし、この話の小見出しの所には、「罪深い女を赦す」の下に、他の福音書の箇所が書いてありません。ということは、ルカだけが記している話です。しかし、それでも、よく似ている箇所があるはずだと気になりますので、調べてみますと、マタイもマルコもヨハネも書いている、イエスの葬りの備えをする女の話です。

場所はエルサレムに近いベタニア村です。ベタニア村と言えば、マルタとマリアとラザロの兄弟姉妹が住んでいた所です。そこでも、一人の女がイエス様に香油を注いだのですが、マルコとマタイによると、足に塗ったのではなくて頭に注ぎかけました。ヨハネだけが、足に塗って髪の毛で拭いたと記しました。また、それは妹のマリアだと書いているのもヨハネだけです。姉さんのマルタは相変わらず接待にかいがいしく働いていたと書いているのもヨハネだけです。

ところが、その香油は、非常に高価なナルドの香油だと書いているのはマルコとヨハネです。しかし、石膏の壺に入っていたと書いているのはマルコとマタイです。そして、「なぜ、こんなムダ使いをするのか。高く売って貧しい人々に施すことができたのに」という声があがったことは、マルコ・マタイ・ヨハネ三者とも書いています。ところが声をあげたのは、マルコによれば「そこにいた何人か」、マタイによれば「弟子たち」、ヨハネによれば「イエスを裏切るイスカリオテのユダ」と、三者三様です。

そして、イエス様が「なぜこの人を困らせるのか。私のために葬りの準備をしてくれたのだ」ということは、三者とも書いています。ですから、この話のメッセージは、イエスの葬りの備えです。

## Ⅲ 罪を赦す権威

ルカの方の話のメッセージは、イエスが罪を赦す権威を持っておられること、多く赦された者は多くイエスを愛する者になることです。罪を赦す権威については、すでに、中風の人の癒しで語られていました（5章）。その時もファリサイ派の人々は、罪を赦す権威を持っているのは神様だけだから、神を冒瀆するこの男は何者だ、と考え始めました。

きょうの所でもファリサイ派の人々は、「罪まで赦すこの人は、いったい何者だろう」と考え始めました。そしてイエス様は「あなたの信仰があなたを救った」と、その罪深い女に宣言されました。そして、多く赦された者は多くイエスを愛する者になると言われました。これがルカ福音書のメッセージです。